



住民総参加型の
スポーツイベント



実施 自治体 募集!



チャレンジデー

2016

2016年5月25日(水)

全国一斉 開催!

チャレンジデーは、地球規模の
スポーツイベントです。

毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている、住民総参加型のスポーツイベント。年齢や性別を問わず誰もが気軽に参加でき、「住民の健康づくり」や「スポーツ振興」、「地域の活性化」のきっかけづくりに最適です。

CHALLENGEDAY



🕒 チャレンジデーとは？

毎年5月の最終水曜日に世界中で開催されるスポーツイベントです。
人口規模が近い市町村同士が、1日に15分以上、運動やスポーツをした人の数(参加率)を競います。

1983年にカナダで始まり、日本では1993年から行われています。チャレンジデー2015は全国で130市町村が実施し、277万人が参加しました。

📖 チャレンジデーのルール

参加方法

- チャレンジデー当日の午前0時から午後9時の間に実施市町村にいるすべての人が参加できます。
- 運動やスポーツなら何でもOK。サッカー、バレーボール、テニスなどの仲間との活動のほか、ジョギングやウォーキング、自宅での体操・筋トレでも参加できます。
- 15分以上運動・スポーツして市町村の集計本部に報告します。



勝 敗

- 15分以上続けて運動・スポーツした人の割合(参加者数÷人口=参加率)により勝敗が決まります。
- 敗れた市町村は、対戦相手の旗を役場に1週間掲げて勝者をたたえます。

自治体のスポーツ担当の皆様へ

“チャレンジデーでまちづくり”をしませんか

1

平日に時間を見つけて運動・スポーツを行うことで、住民の**スポーツの習慣化**が期待できます。



2

スポーツを通じて住民の健康への意識を高めることで、**健康寿命の延伸**や**医療費の軽減**が期待できます。



3

まち全体で取り組むことで、まとまりと一体感が生まれ、**地域の活性化**につながります。



4

全国からエントリーする自治体との対戦により、**新たな交流**が生まれます。



チャレンジデー2016

- **開催日** 2016年5月25日 水曜日
- **主催** 笹川スポーツ財団
- **後援(予定)** 総務省、外務省、厚生労働省、経済産業省、観光庁、スポーツ庁、全国市長会、全国町村会、(公財)日本オリンピック委員会、(公財)日本体育協会、(公法)日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会、(公財)日本レクリエーション協会、(公財)健康・体力づくり事業財団、健康日本21推進全国連絡協議会、(公社)全国スポーツ推進委員連合、(公社)日本青年会議所、(公財)スポーツ安全協会、(一社)アスリートネットワーク、(特非)日本オリンピック協会、(一社)日本パラリンピアンズ協会、プロスポーツ昭和50年会、(一社)日本女子サッカーリーグ、(公財)日本ゲートボール連合、(公財)ブルーシー・アンド・グリーンランド財団、(公財)マリンスポーツ財団、(特非)日本ワールドゲームズ協会
- **特別協賛** 日本財団
- **サポート(予定)** ①チャレンジデーの実施に必要な経費の一部を支援 ②周知・PR グッズ(ポスター、Tシャツ、横断幕等)の提供 ③チャレンジデーに関する各種情報の提供
- **申込締切り** 2016年2月12日
- **お問合せ** 笹川スポーツ財団 チャレンジデー担当 TEL:03-5545-3303 Email:cday@ssf.or.jp 〒107-6011 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビルイーストウィング11階 <http://www.ssf.or.jp/>

チャレンジデー資料送付申込書

FAX:03-5545-3305 笹川スポーツ財団 チャレンジデー担当行

自治体名	都道府県			市区町村	
住所	(〒 -)				
所属部署			氏名		
連絡先	TEL			FAX	
	Email				